



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月9日  
東

上場会社名 株式会社アイリッジ 上場取引所  
 コード番号 3917 URL https://iridge.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小田 健太郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 森田 亮平 (TEL) 03-6441-2325  
 四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 ( — )

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	3,849	4.3	△360	—	△354	—	△262	—
2023年3月期第3四半期	3,689	△6.9	92	△54.0	98	△51.0	49	△60.9

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 △250百万円(—%) 2023年3月期第3四半期 61百万円(△55.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	△36.76	—
2023年3月期第3四半期	6.99	6.85

(注) 2024年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載していません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	7,430	3,101	40.8
2023年3月期	5,638	3,328	57.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 3,031百万円 2023年3月期 3,262百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	10.7	10	△97.4	10	△97.4	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 親会社株主に帰属する当期純利益については、現時点では精緻化が困難であることから、具体的な予想数値の開示は行っていません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	7,166,454株	2023年3月期	7,084,354株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	170株	2023年3月期	170株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	7,129,064株	2023年3月期3Q	7,023,314株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当期決算補足説明資料は、TDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年4月1日から2023年12月31日まで)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善など緩やかに回復しておりますが、世界的な物価上昇や金融引き締め等による海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクとなっており、依然として先行き不透明な状況が続いています。

当社グループは、「Tech Tomorrow ～テクノロジーを活用して、わたしたちがつくった新しいサービスで、昨日よりも便利な生活を創る～」をミッションとして掲げています。このミッションの下、「OMO事業」として、「アプリ開発×OMO(注)ソリューション」を軸に、企業による顧客とのコミュニケーションや顧客のエンゲージメントを高めるためのサービスを提供しています。具体的には、スマートフォンアプリの企画・開発・運用支援やSaaS型で提供するアプリマーケティングツール「FANSHIP」やアプリビジネスプラットフォーム「APPBOX(アップボックス)」の企画・開発・運用等のオンラインマーケティングから、イベントや店舗集客促進等のオフラインマーケティングまで、オンライン・オフライン問わず、企業向けにOMOマーケティングの企画・実行支援を幅広く行っています。また、「フィンテック事業」として、地域で発行・利用可能な通貨や商品券を電子化し流通させるデジタル地域通貨プラットフォーム「MoneyEasy」を企画・開発・運用しています。

2024年3月期においては中長期的な成長実現に向けた戦略及びそのための積極的な投資を進めています。「OMO事業」においては、2024年3月期第1四半期より、当社の新たなプロダクトであるアプリビジネスプラットフォーム「APPBOX(アップボックス)」のサービス提供を開始しています。当第3四半期連結累計期間においては、アプリビジネスプラットフォーム「APPBOX(アップボックス)」への投資の継続に加え、今後の事業拡大を見据えた新規採用などの先行投資を行いました。また、「フィンテック事業」においては同事業の収益基盤を確立すべく、デジタル地域通貨プラットフォーム「MoneyEasy」への投資を継続しました。

以上の結果、売上高3,849,525千円(前年同期比4.3%増)、営業損失360,048千円(前年同期は営業利益92,537千円)となり、経常損失は354,388千円(前年同期は経常利益98,043千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は262,084千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益49,087千円)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

以下のセグメント別売上高及びセグメント利益には、セグメント間の内部取引に係る金額を含んでいます。

## (OMO事業)

「OMO事業」においては、オンラインマーケティング(デジタルマーケティング)関連では、スマートフォンアプリ開発やアプリマーケティングを中心としたオンラインマーケティング(デジタルマーケティング)関連の需要は堅調に推移しました。費用面では、一部開発案件の進捗遅延に伴う原価増が発生したことに加え、当社の新たなプロダクトであるアプリビジネスプラットフォーム「APPBOX(アップボックス)」のサービス提供開始に伴う費用の増加が発生したほか、今後の事業拡大を見据えた新規採用などの先行投資を行いました。オフラインマーケティング(リアルプロモーション)関連では、新規顧客獲得の遅れ等の影響が継続しました。この結果、当セグメントの売上高は3,538,150千円(前年同期比9.6%増)となり、セグメント損失は416,362千円(前年同期はセグメント損失37,460千円)となりました。

## (フィンテック事業)

「フィンテック事業」においては、デジタル地域通貨プラットフォーム「MoneyEasy」の既存導入先を中心に取引が拡大し、期初の想定通り、順調に進捗しているものの、前年同期に規模の大きな案件が複数実施された影響から前年同期比では減収となりました。この結果、当セグメントの売上高は314,660千円(前年同期比32.7%減)となり、セグメント利益は42,912千円(前年同期比65.4%減)となりました。

(注) OMO(Online Merges with Offline)とは、スマートフォンアプリ等(オンライン)から店舗等(オフライン)への送客を促すマーケティング施策や、オンラインとオフラインの取組みを融合し、店舗とインターネットの垣根を越えた最適な顧客体験を提供するマーケティング施策のことをいいます。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて1,791,155千円増加の7,430,040千円となりました。これは主に現金及び預金が2,014,622千円増加、仕掛品が60,647千円増加、ソフトウェアが307,147千円増加した一方、受取手形及び売掛金が532,629千円減少したこと等によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べて2,017,437千円増加の4,328,124千円となりました。これは主に預り金が2,185,171千円増加した一方、買掛金が111,545千円減少、未払法人税等が75,945千円減少、賞与引当金が52,294千円減少したこと等によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産の合計は、前連結会計年度末と比べて226,282千円減少の3,101,916千円となりました。これは主に資本金が16,314千円増加、資本剰余金が16,314千円増加した一方、利益剰余金が270,904千円減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2023年11月10日の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

今後、連結業績予想に修正がある場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,853,838	3,868,460
受取手形及び売掛金	1,372,568	839,939
契約資産	96,720	133,876
電子記録債権	1,819	229
仕掛品	14,133	74,781
その他	150,705	221,589
流動資産合計	3,489,785	5,138,877
固定資産		
有形固定資産	33,590	19,277
無形固定資産		
のれん	514,994	463,641
ソフトウェア	402,528	709,675
ソフトウェア仮勘定	207,615	3,728
その他	208	167
無形固定資産合計	1,125,346	1,177,212
投資その他の資産		
投資有価証券	532,267	534,867
繰延税金資産	390,540	485,966
その他	67,353	73,837
投資その他の資産合計	990,161	1,094,672
固定資産合計	2,149,099	2,291,162
資産合計	5,638,885	7,430,040

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	513,746	402,201
1年内返済予定の長期借入金	200,000	240,000
短期借入金	500,000	500,000
未払法人税等	78,307	2,361
賞与引当金	203,800	151,505
預り金	97,765	2,282,936
その他	152,599	171,720
流動負債合計	1,746,219	3,750,726
固定負債		
長期借入金	525,000	535,000
資産除去債務	39,467	42,397
固定負債合計	564,467	577,397
負債合計	2,310,687	4,328,124
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,188,870	1,205,184
資本剰余金	1,357,087	1,373,402
利益剰余金	717,679	446,774
自己株式	△270	△270
株主資本合計	3,263,365	3,025,090
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,051	6,631
その他の包括利益累計額合計	△1,051	6,631
新株予約権	14,170	14,170
非支配株主持分	51,713	56,023
純資産合計	3,328,198	3,101,916
負債純資産合計	5,638,885	7,430,040

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	3,689,606	3,849,525
売上原価	2,390,456	2,824,277
売上総利益	1,299,150	1,025,248
販売費及び一般管理費	1,206,613	1,385,297
営業利益又は営業損失(△)	92,537	△360,048
営業外収益		
受取利息	9	176
受取手数料	7,309	8,856
雑収入	533	3,180
営業外収益合計	7,852	12,213
営業外費用		
支払利息	2,004	4,441
為替差損	193	96
雑損失	148	2,014
営業外費用合計	2,346	6,552
経常利益又は経常損失(△)	98,043	△354,388
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	98,043	△354,388
法人税、住民税及び事業税	31,175	2,700
法人税等調整額	6,300	△99,313
法人税等合計	37,475	△96,613
四半期純利益又は四半期純損失(△)	60,567	△257,775
非支配株主に帰属する四半期純利益	11,480	4,309
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	49,087	△262,084

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	60,567	△257,775
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	624	7,683
その他の包括利益合計	624	7,683
四半期包括利益	61,192	△250,091
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	49,586	△254,400
非支配株主に係る四半期包括利益	11,605	4,309

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(表示方法の変更)

(四半期連結貸借対照表関係)

当社グループのフィンテック事業領域において、委託者との業務委託契約等に基づいて受領している、利用者からの預り金及びプレミアム分相当の預り金は、連結貸借対照表の「預り金」に含まれており、前連結会計年度の連結貸借対照表の「流動負債」の「その他」に含めて表示していましたが、金額的重要性が増したため、当第2四半期連結会計期間より区分掲記しています。

以上の表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っています。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動負債」の「その他」に表示していた97,765千円は、「預り金」97,765千円として組替えています。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	OMO事業	フィンテック 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,225,130	464,476	3,689,606	—	3,689,606
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,924	3,375	6,299	△6,299	—
計	3,228,054	467,851	3,695,905	△6,299	3,689,606
セグメント利益又はセグメント損失 (△)	△37,460	124,029	86,569	5,968	92,537

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額5,968千円は、セグメント間取引消去です。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	OMO事業	フィンテック 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,535,990	313,535	3,849,525	—	3,849,525
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,160	1,125	3,285	△3,285	—
計	3,538,150	314,660	3,852,810	△3,285	3,849,525
セグメント利益又はセグメント損失 (△)	△416,362	42,912	△373,450	13,401	△360,048

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額13,401千円は、セグメント間取引消去です。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しています。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度において、「フィンテック事業」の量的重要性が増したことに伴い、「OMO事業」の単一セグメントから「OMO事業」「フィンテック事業」の2区分に変更しています。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成していません。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。